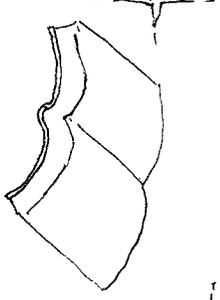


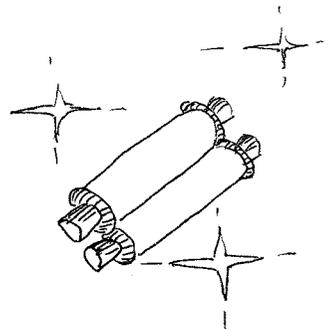
2020年3月号
日本基督教団 聖公会
No. 496 聖公会

いずみのひろば



「神さまのみ言葉を食べたエゼキエル」

エゼキエル書 3章 1～11節



神さまを無視し続けたユダ王国は、バビロニア帝国という大きな国に攻め込まれ負けてしまいます。祭司の子だったエゼキエルさんも捕まり、遠い国バビロンに連れて来られています。神さまから見捨てられたと思って絶望していたそんな時、エゼキエルさんに神さまの声が聞こえました。「この巻物を食べて、私の言葉を人々に伝えなさい！」エゼキエルさんはびっくりしました。巻物を見ると、表にも裏にもつらくて苦しい言葉がびっしりと書かれています。とても食べられそうにありませんでしたが、エゼキエルさんは神さまのお言葉に従ってその巻物を口に入れました。エゼキエルさんは巻物を味わいました。するとなんとそれは蜜のように甘かったです。不思議ですね。

神さまは私たちにも、エゼキエルさんが食べたようにみ言葉を与えてくださっています。時には、神さまが厳しいみ言葉をくださることがあります。また、「巻物を食べなさい」というように、私たちが人間の常識から考えたら無理なことだと思えることもあります。神さまは私たちがどう思おうとも、あらゆることを通して、私たちに今必要なメッセージを愛を持って語ってくださるお方です。

だから私たちは嬉しいこと悲しいこと全てのことには、十字架にかかって命を捨ててまでも私たちを愛してくださいました神さまの愛がいっぱい詰まっていることを忘れないようにしたいんです。よく噛み締めてみると、苦しいことの中にも、蜜のように甘い神さまの愛があふれていることがわかります。

(おはなし 岩野牧人)